

## 一般質問

議員4人

## 町政を問う

12月定例会の一般質問は4日に行われました。紙面の都合により要約してお伝えします。なお、詳しい内容は吉岡町図書館に備えてある会議録で確認できます。また、平成21年第1回定例会以降の会議録は、吉岡町ホームページでもご覧になれます。

一般質問は、執行機関が提出した議案と関係なく、町の行政全般にわたって、議員個人が執行機関に質問し、見解を求めるものです。吉岡町では、質問および答弁をあわせて、1人60分以内の持ち時間があります。

## ■岸 祐次議員（9ページ）

1. 町政の運営と次期について
2. 第5次総合計画の実現は現状・課題・解決策について
3. 小・中学校教育について

## ■金谷 康弘議員（10ページ）

1. 都市計画関連
2. 教育、保育関連
3. 役場業務関連

## ■小池 春雄議員（11ページ）

1. 教育環境の充実
2. 道路整備
3. 子育て支援

## ■五十嵐 善一議員（12ページ）

1. 自殺防止策について
2. 児童虐待について
3. 都市計画道路・漆原総社線について
4. 障害者雇用について



インターネット配信中です

本会議の様子を生中継、録画でも配信。アクセス方法は

吉岡町議会

検索





岸 祐次 議員

# 次期町政の運営は

## 答 しかるべき時に決めたい

**問** 次期町政の運営は。

**答** 町長 「将来に責任を持つ町政を」を基本理念に、走り続けてきた。しかるべき時が来れば、後援会や関係者と相談し決めたい。

**問** 町政運営のトップリーダーとは。

**答** 町長 町民や周囲の人の意見に耳を傾け、町の状況を把握し、決断すること。

**問** 健康の受診率の向上策は。

**答** 町長 現在「健康ポイント事業」の実施を検討している。

**問** 教育施設の建設予定は。

**答** 教育委員会事務局 長 今後の工事は、駒小体育館改築・吉中校舎増築。

**問** 地域資源を生かした、商品開発支援と雇用対策は。

**答** 産業建設課長 小倉乾燥芋の6次産業化や、進出が見込まれる大型商業施設への雇用を要望している。

**問** 高渋バイパスに新たなバス路線は。

**答** 産業建設課長 今後、県やバス関係機関と協議を行い検討したい。

**問** 仮称「南下城山防災公園」の完成後の利活用は。

**答** 産業建設課長 景観は、素晴らしい。町の観光資源として、魅力の向上に努めていきたい。

**問** 職員の確保や政策アドバイザーは。

**答** 総務政策課長 人材の確保は、重要な課題と認識している。政策アドバイザーは、個別事案や町の特性を踏まえて検討したい。

**問** 新聞を活用した授業は。

**答** 教育長 新聞の授業は、厳しい社会変化やグローバル化の時代を担う子どもたちの「今」を取り入れた教育であり、情報活用能力を育む教材の一つとした。

**問** 英語教育の現状と今後は。

**答** 教育委員会事務局 長 平成32年度から次期学習指導要領が全面実施となり、英語は3・4年生が15時間から35時間へ、5・6年生は50時間から70時間の授業となる。

## 吉中生徒の模擬議会の開催は

**答** 考えていきたい

**問** 吉中生徒の模擬議会の開催は。

**答** 町長 現在明小の児童が行っていて、機会があれば、中学生も考えていきたい。



子ども議会で小学生の質問に答える町長



録画映像はこちらをCHECK



かなや やすひろ  
金谷 康弘 議員

# ジョイフル農政協議の 今後は

## 平成31年夏 「都市計画決定」 見込む

**問** ジョイフル本田、農政協議の進捗状況、今後の手続きは。  
**答** 町長 現状、都市計画（案）の作成は概ね完了し、農振除外に向けた※農政協議を進めている。今後、協議が整い次第「都市計画変更手続きに着手」し、平成31年度上

四半期中での「県土地利用基本計画の変更」、夏頃までの「都市計画変更手続き・都市計画決定」を見込む。  
**問** 駒寄スマートーC大型車対応化の進捗は。  
**答** 産業建設課長 用地取得が完了し、平成32年の秋頃完成予定。

**問** ジョイフルの開発地は同ーCに直結し、年間600万人の集客が見込まれる。物産館などの充実を。  
**答** 産業建設課長 期待される交流人口を最大限生かせるよう、売り場の確保に向けジョイフルと協議を進めている。  
**問** 言語通級指導教室を情緒まで拡大を。  
**答** 教育委員会事務局 長 言語に限らず他の障害への体制がとれるように、現在管理規則の改正作業を進めている。

**問** 臨床心理士による保育園・幼稚園訪問事業の拡大を。  
**答** 健康福祉課長 園への訪問回数を増やし、町の児童が通う町外の保育園などにも要望があれば心理士を派遣するなど、事業の拡大を検討。  
**問** 町保健センターに心理士の確保を。  
**答** 健康福祉課長 当面は派遣の心理士の確保に重点を置き、事業のスケジュールを早期に計画し、確保に努力。

**問** 産業建設課における、農業政策と都市計画の相反する業務体制についての認識は。  
**答** 総務政策課長 農政と都市計画の土地利用規制双方のバランスをとった一体的な政策立案には、一定の合理性があると考え、この体制でここ数年進めてきた。今後どのような体制がベストか政策課題に応じて検討。  
**問** 健康福祉課の一般・特別会計に占める金額の多さ。子ども・高齢者・医療・福祉と範囲



ジョイフルの建設が待たれる予定地

### 通級指導教室の充実を

### 他の障害への対応を検討中

市計画の相反する業務体制についての認識は。  
**答** 総務政策課長 農政と都市計画の土地利用規制双方のバランスをとった一体的な政策立案には、一定の合理性があると考え、この体制でここ数年進めてきた。今後どのような体制がベストか政策課題に応じて検討。

の広さに関する認識は。  
**答** 総務政策課長 高援は、高齢者・障害者・子どもなど、区別ない地域包括支援が必要。つまり、同課が抱える諸問題を包括的に解消する仕組みが求められる。よって、現状の体制も一定の合理性があると判断。しかし状況など考慮し、どのような体制がベストか検討。

録画映像は  
こちらをCHECK



三三解説

※農政協議  
都市計画決定にあたり、県・町農政部局と農業上の土地利用の調整を図ること。



こいけ はるお  
**小池 春雄** 議員

## 就学支援の充実を

## 答 教育は将来を担う子への投資

**問** 平成25年国民生活基盤調査では、24年の子どもの貧困率は16・3%で6人に1人が貧困の状態。豊かである日本でも、貧困のため教育の機会に恵まれない、結果就職に際しても不利益な状況をもたらす格差が生じている。これら実態から判断し、町は現状に即した制度の活用を促し、子どもの思いがかなう施策に努めるべきと思うが、町の考えを。

**答** 町長 保護者の経済的な理由などで、学齢期の児童生徒の就学が困難とならぬよう、必要な援助を行う。ま

**問** 後の見通しは。

**答** 町長 吉中から東側工区は平成28年度に地元説明会、29年度に境界立ち合い、30年度一部用地取得し工事着手予定。通学路の安全確保は重要であり、歩道の拡幅安全施設の

**問** 給食費への支援拡充、全額無料が無理なら半額でも。

**答** 町長 平成27年度から、子ども1人年間1万450円を補助。本年度はさらに、給食センターへの食材

**問** 前橋伊香保線の歩道の整備計画、今後の見通しは。

**答** 関係機関と連携し取り組んでいく

増設など、学校・自治会・警察・県などと引き続き連携していく。

### 前橋伊香保線の歩道の整備を

**問** ※就学援助制度対象者の割合は。

**答** 教育長 平成25年度から29年度では、1・29%、2・36、2・64、2・84、2・74で、少し増加傾向。

**問** 平成25年で全国平均15・42%、県平均6・61%で町は低い。裕福でなく周知徹底されてないか、周りを気にする人が多いのかもしれない。教育委員会の取り組み方は。

**答** 教育長 町で支給率が低いのは、町の基準が厳しいとは判断していないが、支給漏れがないようにしたい。



歩道の整備が予定されている前橋伊香保線

### 三二解説

※就学援助制度  
経済的な理由で、子どもに義務教育を受けさせることが困難な保護者に対し、市町村が必要な費用の一部を援助する制度。

費として500万円を助成。当面この方法で支援を続ける。

**問** 平成31年10月の消費税引き上げに合わせ、保育料の無料化が決定されているが、

町で新年度から実施できないか。

**答** 町長 国の制度設計、それにとまなう県の対応を考え合わせ、町の方針を決める。



録画映像はこちらをCHECK



いがらし よしかず  
五十嵐 善一 議員

# 自殺対策計画 策定の進み 具合は

## 答 ほぼ計画通りに進んでいる

**問** 「自殺対策計画」策定の進み具合は。

**答** 町長 現在、素案作りを進めている。

平成31年2月中旬に計画決定の予定。

**問** 職員、教職員への自殺防止対策の研

修状況は。

**答** 町長 自殺防止対策に特化した研修

は未実施。今後、※ゲートキーパー研修を実施予定。

**問** 県主催の自殺対策担当者研修会への

出席状況は。

**答** 町長 町自殺対策計画策定担当職員

2人と、吉中養護教諭1人が出席。

**問** 自殺予防月間中の普及啓発活動取り組み状況は。

**答** 健康福祉課長 県作成のリーフレット、チラシの配布など

のみ。今後は、広報紙やホームページなどを通じて周知を図りたい。

**問** 小中学校での自殺予防教育の現状は。

**答** 教育委員会事務局 長 道徳教育で、「思いやり」や「生命

尊重」について、考えを深めさせ、友達と議論する授業を実施。また、小学1年生の動物ふれあい教室で、命の大切さなどを学習。

**問** 児童虐待対応件数は。

**答** 町長 町にかかわる児童が対象となった件数は18件。

**問** 児童虐待防止推進月間の取り組みは。

**答** 健康福祉課長 民間出版社発行のリーフレットを購入。全

戸回覧で啓発を促進。要保護児童対策地域協議会の、構成員と活動状況は。

**答** 健康福祉課長 構成員は、小中学校

長、保育園幼稚園長、民生委員児童委員協議会長など19人で、年1

回の代表者会議を実施。

**問** 都市計画道路・漆原総社線の全線開通への道筋を。

**答** 町長 平成31年度中に都市計画の変更を行い、32年度に路線測量・道路詳細設計を実施。33年度以降、用地測量調査、一部区間の用地取得、工事着手の予定。

## 障害者雇用での不適切算入は

**答** 雇用数の水増し計上はない

**問** 障害者雇用の実態と不適切算入の有無は。

**答** 町長 群馬労働局指導のもと、再点検を実施。不適切な算入はない。

**問** 精神障害者雇用への取り組み姿勢は。

**答** 総務政策課長 ための、環境整備が肝要と考えている。



通勤時間帯を中心に、渋滞が発生する原田橋付近

### ミニ解説

#### ※ゲートキーパー

周りにいる人の悩みや困り事に気づき、声を掛け、話を聴いて、相談・医療機関など必要な支援につなぐ人のこと。

録画映像はこちらをCHECK

